

関西広域産業共創プラットフォーム

News Letter

Vol. 28

2025(令和7)年
12月末発行

●令和7年度第3回PF連携会議を開催しました 12月24日 開催

関西広域産業共創プラットフォーム（以下、「PF」）では、3か月に1回を目途に、PF連携会議を開催しています。本会議には、関西広域連合域内の公設試の所長・理事長に出席いただき、実施している事業へのご質問やご意見をいただいています。

令和7年度第3回目のPF連携会議は、オンラインで開催し、当PFに寄せられる相談の件数やアンケートでの満足度、域内公設試等のシーズと企業ニーズのマッチングの進捗状況に加え、事業化支援やマッチングの事例紹介、域内構成府県市の企業向けイベントでのPR活動に関して、事務局よりご報告を行いました。出席いただいた所長、理事長から、相談事例や来年度の組織体制に関するご質問、今後の事業についてご意見をいただき、活発な議論が行われました。

また、12月31日付けで退任される大阪産業技術研究所の小林理事長よりご挨拶をいただきました。本事業の構想段階から様々なご意見をいただき、連携会議の初代座長として尽力され、公設試間の連携と本事業の推進に貢献いただいた功績に対し、出席者からは感謝の言葉が贈られました。



●京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ創造フォーラム2025にブース出展しました

地域企業、支援機関や大学が一堂に会して、連携の強化と情報共有を図るフォーラムの貴重な機会に当PFのブースを設置させていただき、PF事業紹介パネルを展示するとともに、パンフレットを配布しました。

ブースには、研究機関や企業支援に携わる方々をはじめ、多種多様な業種の皆様にお立ち寄りいただきました。

展示を通じ、当PFの支援の枠組みや、連携の仕組みについて周知を図るとともに、今後の活動の参考となる意見交換を行うことができました。ブースを訪れた皆様からは、広域連携の取組に対する高い関心と、今後の活動への期待の声をいただきました。

今回の出展で得られたネットワークを活かし、今後ともより一層、多くの皆様に当PFをご活用いただけるよう周知活動に努めてまいります。皆様におかれましても、技術課題の解決や新たな連携先の発掘に向けて、本事業を積極的にご活用いただけますと幸いです。



～事務局便り～

あいにくの雨が続く天気となっておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。道々に飾られた色とりどりのイルミネーションが、雨に濡れた路面に映えてとてもきれいですね。さて今年はまさに関西のポテンシャル、力が存分に発揮された年となりました。大阪・関西万博の成功、2名のノーベル賞受賞者、日本の憲政史上初の女性総理大臣の輩出など、関西人として実に誇らしいことが続きました。万博では、大阪技術研をはじめ公設試の皆様が大いに盛り上げて頂きました。ここで展示・紹介された新技術を、未来の社会に役立てるために力を抜かずにつづけて開発を進めていきたいものです。

当PFは、事業開始から4年目に入りました。相談件数も増え、中長期的な支援を要する事業開発的な案件が増えてきております。一定の経済効果を見込める成果も複数出てきました。「小さな相談、大きなチャンス」をモットーに全力で対応してきた成果ではないかと思います。皆様の絶大なご支援に感謝いたします。PF事業のさらなる発展を目指して、事務局全員が一つのチームとして一体となり、今後ともより一層頑張る所存です。最後になりましたが、皆様どうぞ良いお年をお迎えくださいませ。

公設試験！News

センター職員が表彰されました ～令和7年度中国地域公設試験研究機関功績者 表彰～

鳥取県産業技術センター

社会的課題の改善や、
地域産業の発展に貢献
したことなどが高く評価され、
当センター職員2名が、
中国地域公設試験研究
機関功績者として表彰さ
れました。



中国地域公設試験研究機関功績者表彰は、中国地域の鉱工業技術関係公設試験研究機関に所属する職員を対象に、学術、産業の発展に顕著な功績を挙げた者を表彰し、研究者等の志気高揚を図り、中国地域の技術水準の向上に資するため、平成3年から（公財）中国地域創造研究センターが実施している事業です。

○研究業績賞

吉田 裕亮（機械素材研究所 システム制御グループ長）
「企業連携によるハンドセンサデバイスと応用製品の開発」
県内企業や大学と連携し、医療・介護従事者の腰痛を原因とする生産性の低下を解決する新しい機器の研究に取り組み、腰部のアシスト力を自動調整するアシストロボットを開発した。

○試験研究功労賞

加藤 愛（食品開発研究所 食品加工グループ長）
「未利用・低利用水産資源の活用研究による地域食品産業の支援
～国研究所、県内企業、そして医療機関等との連携～」
超高齢化社会を見据え、健康寿命の延伸につながる食品の開発に取り組むとともに、県内の医療機関と連携し、企業による商品化を支援した。

知財活用でアイデアを形に！ 「中小企業のための共同研究開発＆オープンイノベーションのポイント」

奈良県産業振興総合センター

共同開発やオープンイノベーションに
関心をお持ちの中小企業の皆様を
対象としたイベントです。
奈良県外所在の企業様も参加可能です。



開催概要

- 日時：令和8年1月14日（水）14:00～16:10
- 場所：奈良商工会議所 5階 中ホール（オンライン有）
- 定員：来場 20名、WEB 30名
- 参加費用：無料（参加申込み必要）
- 申込期限：令和8年1月9日（金）正午

講演内容

①中小企業のための共同開発と オープンイノベーションを成功させる知財活用法

【講師】
IPTech 弁理士法人 副所長 / 弁理士 加島 広基 氏

②「人間洗濯機」の万博出展で話題！ 工業製品を民生用に開発＆知財ミックスを学ぶ

【講師】
株式会社サイエンス 専務取締役 平江 真輝 氏

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.pref.nara.jp/item/329854.htm#itemid329854>
<https://www.pref.nara.jp/secure/329854/20260114chirashi2.pdf>

滋賀県東北部工業技術センター 令和7年度 研究シーズ発表＆交流会

企業の皆さんにセンターの保有技術について知っていただき、ご活用していただくために「研究シーズ発表＆交流会」を開催いたします。

各分野の職員から研究シーズのプレゼン発表後、ポスターセッション形式の交流会を予定しております。

全分野の職員が一同に会する場になりますので、この機会に幅広い分野の技術者との交流を図ってみてはいかがでしょうか。

開催概要

- 開催日時：令和8年1月29日（木）13:20～16:00
- 開催方法：職員によるプレゼン発表＆ポスターセッション
- 参加費用：無料（入退場自由）
- 開催場所：米原市役所本庁舎 3階 会議室3A、3B

発表内容関連キーワード

- ①有機環境係：琵琶湖、生分解プラスチック、樹脂混練機、材料開発
- ②繊維・デザイン係：織物産地技術、素材開発、性能評価
- ③機械システム係：見える化、計測技術、回流水槽、流体解析、ウルトラファインパブル
- ④金属材料係：DX、鋳造技術、AIによる効率化、成分分析技術



3Dプリント砂型



バルブ性能試験装置

イベント担当者：機械システム係 是枝 0749-22-2325

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.hik.shiga-irc.go.jp/>

センターオリジナル酵母を活用したラム酒が製品化されました

和歌山県工業技術センター

和歌山県工業技術センターでは、熊野古道から採取・単離したオリジナル酵母「古道酵母」を分譲しています。「古道酵母」は、平成16～18年度に実施した戦略的研究開発プラン事業で開発されました。

そうした中、近年の嗜好の変化により、吟醸香の高い日本酒への需要が高まってることを受け、当センターでは、令和2～4年度にコア技術確立事業（第2期）において、カプロン酸エチルをより高生産し、元の古道酵母と比較するとカプロン酸エチル濃度を約10倍生産できる新規古道酵母「KODO.ec162株」の開発に成功しました。これまでに、酒造メーカー様にご活用いただいており、令和7年4月には本酵母を活用したワインも発売されています。

今回、新たに、「KODO.ec162株」を用いたラム酒「Rum from Kumano Kodo truck」の販売が開始されましたので、ご報告いたします。

新規古道酵母「KODO.ec162株」が持つフルーティな香りが活かされた製品となっています。



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.wakayama-kg.jp/news/2025/12/post-314.html>